

すくわくプロジェクト

① 活動のテーマ～年長夜の会 ランタンづくり

① テーマの設定理由

染め紙を使って色を付けた素材に光を当てる事で色の見え方や雰囲気が変化する事に気づく体験が出来ると考えました。ランタンを作る過程では染めるだけでなく様々な技法を使うことで美術体験の幅を広げました。

② 行事「年長夜の会」に向けて、当日暗くなった保育室で灯りを楽しむものとして、1週間前から制作に取り組みました。



③ 和紙・彩液・はけ・風船・やまのり

和紙を折り、子ども達それぞれが色の組み合わせを考えて彩液を選んで浸し、大きな1枚に様々な色が染まるようにしました。彩色した紙をちぎり、風船に合わせてはけで糊付けした後、中の風船をはずすと丸い形のランタンが出来上がります。糊付けの最中には色の重なり方や糊付けの方法、和紙を重ねて頑丈さを出す事に集中していました。最後に大人がボンドで仕上げて固めました。年長児の活動にふさわしく、最後まで真剣に丁寧に取り組んでいました。

彩液は日本伝統の色彩を使うことで、自分たちの文化に触れる機会にもなりました。



④ ランタン作りの製作の過程では、色の重なりや貼り方を工夫しながら、いつになく真剣な眼差しで集中して取り組んでいました。

「重ねてないから破れちゃうかな」「同じ色を重ねたい」などランタン全体を見ながら自分自身で考えて、繊細な作業も丁寧に進んでいました。

保育士はやり方を一度示した後は見守り、必要に応じて個別に援助しました。今までの製作の経験の積み重ねにより、子どもたちそれぞれが自立して完成まで作業を進めていました。

⑤ 染める・切る・貼るといった複数の工程を通して、色の重なりや張り付けていく際の色の配置を考えながら取り組む姿から年長児ならではの探究心や工夫する力を感じました。

完成したランタンに小さなランプを入れて年長夜の会(年長行事)で飾った際には、光と色の美しさを歓声があがりました。素材や工程だけでなく「完成後の体験」まで見通した活動の大切さに気づきました。今後も、子どもが試行錯誤しながら表現を深められる活動を取り入れていきたいと思いました。

- ① 活動テーマ・テーマの設定理由 ② 活動スケジュール ③ 活動のための素材、道具、環境設定
④ 探究活動の実践・子どもの声、子ども同士や保育者との関り ⑤ 振り返り 保育者の気づき